

特別支援



新型コロナウイルス感染症対策への長期的対応が見込まれる中、学校における感染と拡大リスクを可能な限り低減した、充実した授業や行事を行いました。

小学部 冬のお楽しみ会



小学部では「冬のお楽しみ会」を実施しました。1年生から6年生までの17人と保護者が参加し、雪の感触のボールを使った雪玉入れや、パーツを協力して運んで雪だるまを作る活動を体育館で行いました。授業参観を兼ねた久しぶりの学部行事は、笑いに溢れた楽しいひと時でした。



中学部 作業学習



中学部は、一年間作業学習で、お客様に喜んでもらえることを楽しみに革製品作りに取り組んできました。オンラインやカタログ販売など工夫しながらバザールで販売し、たくさんの保護者の方々や他学部の友達に購入していただき、大きな達成感を得ることができました。学部みんなで振り返りを行い、新たな製品作りに生かしていきます。



高等部 きりの子バザール



高等部では、作業学習の集大成として「きりの子バザール」を行いました。コロナ禍で対面販売は諦めましたが、織物班・クラフト班・木工班の各販売ブースにモニターを置き、間接的にお客様とつながるリモート販売を行いました。画面越しのやりとりを楽しみ、作業製品を介して交流が深まりました。



支援学校より

今年度も新型コロナに翻弄され、学校行事が延期・中止となり、児童生徒は先を見通せない不安を抱えながらの学校生活となりました。また、保護者の皆様の来校も叶わず子供たちの活躍を目にする機会も限られてしまったことが残念でした。来年度は学校行事、学校生活の有り様を再検討し、「すべての子供たちの笑顔のために」職員一丸となって取り組んで参りたいと思います。 副校長 竜澤規之



まきりの華21

今年度はコロナ禍で3密をさけるため、地域の方々と触れ合う機会がありませんでした。来年度はコロナ禍が収まり、地域の方々を学校園にお招きできることを祈っています。一年間、ご理解ご協力をありがとうございました

幼稚園

本園では山梨県の臨時特別協力要請により、1月26日から2月21日まで分散登園を行いました。半数ずつの登園で、仲良しの友達に会えない寂しさを感じつつも、それぞれに関心があることにじっくりと取り組めたようです。今回は、卒園を間近に控え、小学校入学を楽しみにしている年長児の姿を中心に伝えたいです。

「節分」2月3日・4日

「おには～そと!」「ふくは～うち!」子ども達の元気な声が冬空に響き渡ります。初めて豆まきをする年少さんは、大きな鬼におっかなびっくり!でも一番大きなさくらさんは、さすがの貫禄。大きな声で「鬼は～外!」と叫びながら鬼と戦いました。年長さんは、「怒りんぼ鬼をやっつけるんだ!」「弱虫鬼を退治する!」と自分の中の「鬼」を退治して、またひとつ大きくなりました!

おには～そと!ふくは～うち!



副校長先生と楽しいおしゃべり!



「附属小学校 学校探検」2月8日・9日

附属小学校がオンライン授業をしていて1年生が「お留守」の間に、お邪魔して遊具広場で遊ばせていただきました。青木副校長先生とお話をしたり、幼稚園にはないような大きな遊具で遊ばせていただいたり。「早く学校行きたいなー」「また、滑り台やりたいなー」「私は勉強やりたい!」と、小学生になる日が、ますます楽しみになりました。

博物館の土偶みたいに作りたい!



「土偶をつくろう!」

恐竜が大好きなA君。次第に化石、そして「縄文時代」の土偶や埴輪、石器へと関心が広がっていきました。そんなA君に刺激を受け、年長さんでは「土偶づくり」がブームになっています。テラスに所狭しと並べられた「作品」を見ているとタイムスリップしてしまいそうです。



幼稚園より 一年長さんにインタビューー「1年生になったらやってみたいこと」

★宿題★ジャングルジム★釣りをして水族館を作りたい★勉強★みんなのお手伝い★給食で「おかわりじゃんけん」したい★プール★実験 ☆☆☆「早く学校行きたいなー!」☆☆☆



オンライン授業を実施しました！ 臨時休業期間中に家庭と学校を一人一台端末でつないで授業をしました！ 1.27~2.25



新型コロナウイルス感染症の急拡大を受けて、山梨県知事より、学校の分散登校やオンライン授業への移行について要請が出ました。これを受けて、本校では、1月27日(木)~2月25日(金)の間、臨時休業措置をとり、全校でオンライン授業を行いました。各家庭のご協力を得て、子どもたちが持ち帰った一人一台端末で、全家庭がインターネットで接続し、学校とで双方向の授業を行いました。子どもたちは、初めての経験にわくわくしながら、とても意欲的に参加し、積極的に意見交換をするなど、端末の機能を最大限活用して授業に参加しました。1年生から6年生まで、それぞれの発達段階に応じた学習内容をオンライン授業で楽しく学ぶことができました。今回は、急なお願いにもかかわらず、ご理解ご協力をいただいた保護者の皆様を中心に感謝申し上げます。ご家庭のご支援で子どもたちが新たな学習のステージに上がったことを嬉しく思います。



1年生の授業の様子



4年生の授業の様子

スキー教室に行ってきました！ ~各グループに1名のインストラクターがついていよいよ指導してくれます！~

1月7日(金)に5年生が、富士見高原スキー場へスキー教室に出かけてきました。レベルに合わせて12のグループに分かれ、それぞれのインストラクターから2時間×2コマ=計4時間の指導を受けられるという、スキーに集中できる環境が大変整っていました。練習では、インストラクターの話をしっかり聞いて動きを真似してやってみたり、「頑張れ！」「大丈夫？」など仲間と声を掛け合ったりしながら進めました。途中で弱音をはいたりスキーを嫌がったりする子は一人も出ませんでした。これまでに経験したことのある子どもたちは格段に技術が上達し、また、初めてスキーをした子もリフトに乗ったりゲレンデを滑り降りたりと十分に冬のスポーツを楽しむことができました。



スキー教室の様子

給食室より



本校では、甲府市内でも珍しい自校給食方式を取り入れており、栄養教諭が日々の献立を調理員と創り上げています。食育の観点からも大変意義深い取組です。季節の食材を活用した豊富なメニューは、子どもたちの心と体の栄養となっており、学校生活を送る上での大きなエネルギーとなっています。子どもたちも毎日の給食をとても楽しみにしています。給食室でも、子どもたちに栄養バランスのとれた美味しい給食を食べてもらおうと毎日一生懸命に給食作りをしています。

GIGAスクール特別講座「教室から深海探査につなごう」に参加

令和4年1月18日(火)、中学1・2年生がGIGAスクール特別講座~教室から深海探査につなごう~にYouTubeライブで参加しました。海洋研究船「新青丸」や深海探査ロボット「ハイパードルフィン」と中継を結び、研究船の研究者の方のお話や相模湾の深海850mの様子など、深海探査の様子を見学しました。途中クイズへの回答や意見交換などをGIGAスクール構想で配付された一人一台の個人端末から回答するなど、生中継で空間を超えたりやりとりを体験しました。国を代表する研究者の方々の仕事にも触れる貴重な機会でした。



『海と日本 project』(2月14日山梨放送)から

見学後は、SDGs(持続可能な開発目標)の14番目の目標(海の豊かさを守ろう)に関わって、「豊かな海を守っていくために、私たちができることを考える」という考察を行いました。どの学級でも自分事として真剣に考えていました。めったにできない体験をとおり、いろいろな刺激を受け、海洋ゴミ問題の解決などに対する関心も高まったようです。



生徒会選挙実施 生徒会長に兼田茉莉花さん

令和3年12月10日、令和4年度生徒会役員選挙が実施され、即日投票の結果、2年4組兼田茉莉花さんが令和4年度生徒会長に選出されました。また、12月24日に任命式、引継ぎ式が行われ、正式に新生徒会本部が発足しました。今年度は、コロナ禍の影響で9月上旬に臨時休業になり学園祭の分散開催など、たびたび計画変更を余儀なくされました。しかし3年生中心の生徒会本部は困難な状況下でも



兼田新生徒会長(向かって右側)



令和3、4年度生徒会本部引継式(向かって左は新生徒会、右は旧生徒会役員)

複数の実施計画を練り、粘り強く取り組みを続け、見事に様々な取組を実現していきました。新執行部には、その志を引継ぎさらに挑戦を続けていってほしいと思います。

- 生徒会本部役員は次の通りです。
- 会長 兼田茉莉花
 - 副会長 寺田結, 山本奏太
 - 議長 内田翔大, 小泉心優, 深田莉央
 - 事務局員 大矢星華, 手塚優理子, 小林信太郎

新生徒会長 兼田茉莉花さん『生徒会活動への抱負』

コロナ禍の学校生活も3年目となります。身体的な距離は離れ、臨時休校で学校での時間も減ってしまうなど、仲間との心の繋がりが感じにくい日々が続いてしまいました。生徒会活動を通して、全校の心と心をもう一度結びつけたいと思っています。規律や生活態度といった土台を固めた上で、桐龍祭や合唱などの伝統行事で、全校の団結力を強固にしていきたいと思います。暗い気持ちになってしまいがちな昨今ですが、附属中生の心の結びつきを強め、全校で乗り越えていきたいです。